

桑名人入協

昭6年3月1日
第 2 号

桑名市文化協会
桑名市中央町2丁目37
TEL 24-1361

はや 潜ぎいでよ

会長 佐藤 勤三



『一道一心』で

副会長 鈴木 聖三



去年私どもは、轟深く漂う谷間の徑をくだつてまいりました。時々、

怪鳥の叫び声を聞き、私はおびえました。『不況』である。そうした中第二回芸術文化祭が開催されました。

市と会員一同の大きいご協力が成果をみせました。このイヴェントの中で、私どもの心は和み、温められ、勇気づけられました。

いま、この暗い谷間を通り抜けて広い海域に向かおうとしています。水面には、まだ靄が立ちこめていますが、いまこそ航海図を大きく展げこれをしつかり見つめましよう。

そして、第三回のイヴェントにのぞみましよう。

ふなびと は はや こぎ いでよ
ふきあれし よひ の なごり の

なほ たかく とも

(昭和二十八年歌会始

歌題 「波」

召歌 会津八一 詠める)

芸術文化祭は、全員が一丸となり、市のご支援も頂き、成功裡に終えることができました。その後、会の充実発展を目指した貴重なご提案も頂きました。

書經に「一徳一心」という言葉があります。会員は、みなそれぞれに道を極めるために努力されておられますので、「一道一心」で芸術文化の振興を図つていければと思つてします。

今年は国民文化祭も催されます。市の芸術文化祭をより充実した催しとするため努力してまいりましょう。

桑名のルネッサンス

副会長 内藤 恵介

理事 上原 巳喜子



昨年は、協会の記念事業として、多くの専門の方々や愛好者が参加して桑名市民芸術文化祭が開催されました。

文化の発展は独善的排他的な所ではなく、強い個性をもちながら、互いに理解しあつて一つの事業を協力して実行していく所があります。ヨーロッパ社会の近代化は、ルネッサンスという文化活動によつて始められました。協会の活動が、桑名のルネッサンスの一助となるよう協力していきたいと思います。

富士山は、高い頂上と
広い裾野の故に美しい。

文学部門とは

個人会員四名、団体として短歌一俳句四、川柳一、「子どもの本」勉強会一、の七つの会によつて、去る十一月の文化協会設立記念事業の市民芸術文化祭に臨んだ。

「子どもの本」勉強会を除いては消極的な参加方法であつたが、発表までは、辞書を前に（時には瞑想）非常に苦しい心の葛藤を要した。心（景）と言葉の文を織りあげるトーンの低い部門である。

平成五年六月に発足した桑名市文化協会で、美術部門としては始めての参加でした。試行錯誤の状態で、同じ美術部門の中で、この方は日本画だろうか、工芸だろうかと失礼の

理事 吉田 敏男

中、文化祭の一つの美術展を六華苑で開催。型通りの一回展は、いろいろ問題点を残し終了いたしました。
来年度は充実した催しにするよう、運営委員を設定し、美術部門会員八八六名一丸となつて前進したいと思ひます。

- ・第2回桑名市民芸術文化祭を収録しましたビデオを設置しています。
- ご希望の方は、事務局まで。
- ・桑名の唄『桑名の殿さん』『桑名の石採祭』の採譜をしました。（故 やんちやさんの歌から）

お知らせ

自筆の色紙の歌、短冊の句、そして、子どもの絵本を展示し、ご覧いただいた。

音楽部門の紹介

理事 近藤 豊一



私達の部門は、吹奏楽、弦楽、合唱、リコーダー、マリンバ、ロツクやブルーグラス等々大小様々な音出しをやっている個人、団体の集合体で、現在会員数は、約三五〇名です。音楽は、私達人生の色々なシーンで重要な役割をしている素晴らしい生き物のようです。

所属メンバーが核となつて桑名の街に大きなハーモニーをつくり出していきたいと夢をふくらませています。

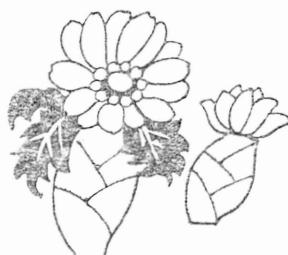
市民の皆様方の暖かいサポートや多数の加入をお願い致します。

芸能の祭典

理事 大竹 重信

第二回桑名市民芸術文化祭芸能の祭典は、十一月三日市民会館ホールで、三十七団体のご協力のもとに、計六五七名の出演を得て開催された。開会に先立ち出演団体代表の協議を行い、午前九時半開始、一団体の出演時間十二分とした。観客動員も各団体にお願いし、延二千名の市民にご来場いただいた。

第三回大会は、出演団体が更に増加すると思われるのと、二日間に分けて盛大に開催したいと考えている。



桑名市民芸術文化祭

理事 加藤 武夫

私は、三十年近く昔の劇団すがおの機関紙に「市民文化祭の実現を」といったことをかなりの願望を込めて書いていました。その後『桑名演劇祭』と銘打つて、劇団すがおは、立教青年団、日進青年団、東芝労働組合演劇部と共にフェスティバルを行つてきました。

また、市民会館の落成を期に『桑名文化団体フェスティバル』といふ企画も桑名吹奏楽団、桑名うたう会、桑名ギターマンドリンクラブといったグループと共に行つてきました。いずれの会もそれなりに盛会でした。が、各団体の諸般の事情によりいつしか中止に至つてしましました。今回それが『桑名市民芸術文化祭』として文字通り桑名で活躍する文化団体、グループ、個人の集大成として開催されたことに大きな喜びを感じます。

じています。

その原動力になつたのは、桑名市

の教育委員会に生まれた文化振興係であり、この文化振興係のご努力で発足した桑名市文化協会であるといふことは言うまでもありません。今後の発展を願わざにはいられません。あえて苦情を呈すれば、そんな経過で生まれた協会であり、芸術文化祭であるだけに官製臭さが避けられず協会の会員と文化振興係の熱気といつたものがすれ違つてゐる気がします。協会に対する会員の自助努力が要求されるのではないでしようか。

今年は国民文化祭がこの三重県で開催されます。桑名市も二つの事業を受け持つわけで、行政と文化団体市民各層が一体となつて成功させねばならないでしょう。しかも、単に一過性のイベントとしてではなくてこれを機会にアマチュアの文化が、地域の文化が前進する機会にでもしなければこの地で行う意味がありません。

今年の文化協会は大きな課題を抱えていると思います。

私たち演劇部門は、桑名高校演劇部、桑名北高校演劇部、桑名西高校

演劇部、劇団すがお、城南児童演劇クラブで構成されております。学園

の文化活動として、また地区市民センターの講座のひとつとして、地域のグループといった風に活動の基盤がまつたく異なるグループで構成されています。

文化協会の結成を期に、お互に援助しあい、また競いあつて地域の演劇文化振興に向けて頑張りたいと思つています。

○ 茶会について
昨年は、前売り券を千枚、当日券百五十枚、来客数千百人。和館の二席は一寸混雑があり、野点は理想的であった。

今年度からは前売り券・当日券を

前売り券 百五十枚
当日券 七百枚

とし、合計八五十枚とする予定。

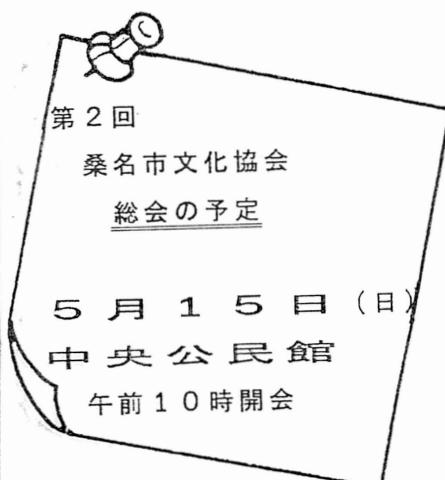
○ 華道展について

今までの華道展では、各流儀十五ヶ二十杯であったが、番蔵棟では最大限八十杯であった。

各流儀七流儀で詰合いの上、公民館サークル活動の方々にも出品して頂き納めたものの、今年度より新しい考え方として、市民会館会議室をも使用したいと思つてゐる。

茶会・華道展の反省会より

理事 水谷 勉



文化の人たち

理事 西羽 晃

江戸時代の桑名を詳しく描写している『久波奈名所図絵』の作者は、魯縞庵義道であるが、これだけの本を書くには、多くの人達が周辺にいたであろう。

俳句の裏鏡、春洞、麟溪、国学の南淵、黒沢、漢学の平井、佐父理らが同時代に活躍している。

彼等はお互いに切磋琢磨していたに違いない。ちょうど文化年間

(一八〇四～一八一八) のことである。

桑名市文化協会も会員が切磋琢磨して、桑名の文化を築きたいと思う。

市民芸術文化祭に参加して

理事 岡 重昭

桑名の文化を高め、相互親睦を計つて、念願の市文化協会が結成されたことは何よりの喜びでした。

第八部会は、協会組織に個人加入が多く、今年度の文化祭への参加、展示は団体に限定され、個人参加の機会がなかつたことは心残りでした。

今後は、おいおいに参加の手立てを講じ、展示発表の機会をつくつていくことが、桑名の文化を高めるところになろうかと思います。



市民芸術文化祭を終えて

書記 今村 和子

昨年通りオープニングセレモニーに続いて、音楽部門の合唱の祭典が開催されました。

私の所属する合唱団は、今回は、テーマソングの「何かが生まれる」を歌うという事でのみの参加となりました。

昨年の反省点として問題提起がなされていながら、今年も同じように観客動員という点で悔いを残したと感じています。

市民芸術文化祭自体が、文化協会の会員のみの文化祭になつているのが現状だと思います。

一年でも早く、一般市民に広く知つてもらい、当地域に根ざした文化祭になるように、皆で努力をしていかなければならないと感じております。

オペラ

ドンキホーテ

会計 水谷 桑丘

文化協会の育成
急が
だと思
いこ
まろ
ます。

監事 水谷 正吉

生まれて0歳です。

正月三日、ベルリン国立オペラ座のショートオペラを観た。子ども対象の人形劇にドンキホーテがからむ一時間程の出し物であったが、本物のオーケストラと人形を扱う立派な大人、ドンキホーテ役のテノールの迫力。はじめは子ども相手だと高をくくっていたが、見事裏切られ、素晴らしいものであった。

こういう場に臨む親と子

とその背景

芸術は、子ども、若者のために道を開く重要な役目を我等大人に投げかけている。

必要あるときのみの会合では効果薄いと思い、毎月〇曜〇時というよう、定期的に問題を持ち寄つての前進対策が当分必要と存じ、協会運動の漸進を提唱します。

部門別代表及び副代表クラスで絶えず情報を交換する機会をつくつて下さい。お互い自分達の部門だけではなく、他部門の内容・運営方法を理解しあうことが大事。

10月22日(土) (津市) オープニングパレード 開会式・オープニングフェスティバル

23日(日) (津市) 美術展(30日まで)
マーチングパレード・バトンワーリングの祭典 合唱の祭典 文芸大会 三曲の調べ 山と海の祭典

(四日市市) 全国吟咏詩選道祭 生活文化総合フェスティバル(30日まで)
(松阪市) 映像祭
(桑名市) 民謡・民舞の祭典
(鈴鹿市) スポーツファッションショー
(尾張市) 人形劇見本市
(龜山市) 室内楽フェスティバル
(熊野市) 海の文化シンボジウム
(久居市) ギター・マンドリンの調べ
(大安町) ジャズ&ボップスフェスティバル
(猿野町) 全国落語競演会
(閑町) 街道・町並みシンボジウム
(阿児町) 文楽フェスティバル
(大宮町) 邦楽道、いきものアートフェスティバル(30日まで)

25日(火) (津市) 創作オペラ
26日(水) (津市) 洋舞フェスティバル
27日(木) (津市) 日本舞踊祭
28日(金) (津市) 全国団ぐくし(30日まで)

29日(土) (津市) 吹奏楽の祭典 洋舞フェスティバル
(四日市市) 演劇祭(30日まで)
(桑名市) 大茶会

(鈴鹿市) 再見祭・大黒星光太夫シンボジウム
(名張市) 能フェスティバル
(龜山市) 文学と旅シンボジウム
(鳥羽市) 国際民俗芸能祭
(河芸町) 演劇祭(一人芝居・民話語り)

30日(日) (四日市市) オーケストラの祭典 大舞踏会 in みえ'94
(伊勢市) 能フェスティバル(新能)
(松阪市) 子供フェスティバル
(上野市) 芭蕉フェスティバル
(鈴鹿市) ライトミュージックフェスティバル
(御浜町) 子供フェスティバル
(津市) 開会式・グランドフィナーレ

文化活動のご案内

3. 13 第52回全国百人一首かるた競技

桑名大会(桑名市体育館)

3. 20 第8回桑名市謡曲連盟発表会

(海津郡歴史民俗資料館)

3. 27 第2回桑名高校吹奏楽部定期演奏会

(桑名市民会館ホール)

4. 3 第26回桑名邦楽大会(桑名市民会館ホール)

4. 21 第30回公募神彩展(桑名市民会館ホール)

編集後記

春がここまで来ています。

やっと2号をお届けすることができました。